19 de Setembro de 1924 N.389

Nippak - Shimbun

Director Sack Miura
Caixa 375 S.Paulo Brazil

日伯新聞

聖市エルネストデカイシヤ三七五
發行所 日伯新聞社
本紙定價 半ケ年十ミル 壹年拾八ミル

伯國だより

▲前號で三割淘汰の適用範圍、伯國を逸しちやイケないと書いておいたが參考の爲めモ少し具体的に說明して置かふ、直接の効果がないにしても精神的の　　はあらう

▲先づリオの大使館だア、茲には大使田付七太君の下に青木といふ勅參が一人居る、其下に野田良治と云ふ南米のヌシがおる、其下に何とか書記官、大谷飜譯官、これは來月ベノスへ轉勤する、其下に書記生が四名それから今度粟津金六と云ふのが囑托と云ふ所で這入ることになつた

▲頭數にして九人、大使館の表看板の手前決して多くはないが少くもない、右の內田付が適任だかどうかは後廻しにして他の連中から片付けて行かふ、先づ青木勅參だア、此人には僕未だ會つたことは無いから何とも批評の限りでないが何でも大使の前では鞠躬如として書記生通譯生の如しと云ふ噂を耳にしておる大臣秘書をやつたことのある男だから其所は如才なくやつてることと思ふが、要するにこれはオノラブルゲスと云ふ所だらう

▲始めは何でも伯國の祉交界に乘り出し大いに活躍するツモリで住宅もダンスをやれるホールが無ければと云ふ意氣込であつたと聞くが其後一向に活動したと云ふことを耳にしない、或は健康が之を許さないのかも知れないがオノラブルゲスたることに變りはない

▲其次は南米のヌシだ、ヌシはヌシだが大分古いヌシだ、兎角ヌシとなると頭も体も硬化するもので、これも其儘にしておくと益々硬化するから一度は歐洲に轉勤させ若返法を注射さすことだ、それには西班牙伯國牙でな所が恰ゝ嵌つて居やう、尙く も外務省の飯を食ふ程の者が歐洲勤務の經驗ゝ無い樣では肩身が狹くてイカン當人もこれならイヤでにあるまい

▲それから飜譯官だか從來は大谷弥七が居て少數ながらリオ在留邦人と使館とのツナギになり外人との交涉などゝ專らこれがあつて居た、而して大使館內の若造どもを押へて居たが、これが今度ベノス轉勤で居なくなり、代つて粟津金六と云ふが這入る

▲此男は葡語が世界語であるといふだけで世の中を少しも識らない純然たる通譯でおまけに喧嘩ずき、外人との交涉ごとをそうだらうが對邦人關係は將來大使館は頗る變なものになる、大使館では係り恊巧で世の中を識らない、常識を備へて居ないと云ふ方面では餘に立派な將待生が居るとだから此上非常識者を抱えるとも當るまいと思ふが、兎に角對外人方面では何かしら一枚役者の要ることは事實だ

▲大使館の書記生どもは大抵ツイ此頃お酌から一本になつたホヤ〳〵もので之れが又本省でお叩頭を習つて來て居ないから行儀作法がなつて居らず兎もすれば惡ラザケが過ぎてイカン、此は一度是非本省に呼戻し一廻り行儀だけは教え込まねば第一お座敷へ突出せない

▲元來現行外務留學生と云ふものが頗る變なもので若い青年に大金を當がつてノラクラさせておくなど怪しからぬ話で、これこそは國費飽費だ此際だから思ひ切りよく廢止して仕舞ふこと、若し存置するならば從來の手當を半減か三分一減にし、將來の新參者は一度は歐洲に轉勤させ若返法を注射して置かふ、直接の効果がないにしても精神的の　　はあらう

▲先づリオの大使館だア、茲には大使田付七太君の下に青木といふ勅參が一人居る、其下に野田良治と云ふ南米のヌシがおる、其下に何とか書記官、大谷飜譯官、これは來月ベノスへ轉勤する、其下に書記生が四名それから今度粟津金六と云ふのが囑托と云ふ所で這入ることになつた

▲頭數にして九人、大使館の表看板の手前決して多くはないが少くもない、右の內田付が適任だかどうかは後廻しにして他の連中から片付けて行かふ、先づ青木勅參だア、此人には僕未だ會つたことは無いから何とも批評の限りでないが何でも大使の前では鞠躬如として書記生通譯生の如しと云ふ噂を耳にしておる大臣秘書をやつたことのある男だから其所は如才なくやつてることと思ふが、要するにこれはオノラブルゲスと云ふ所だらう

▲始めは何でも伯國の祉交界に乘り出し大いに活躍するツモリで住宅もダンスをやれるホールが無ければと云ふ意氣込であつたと聞くが其後一向に活動したと云ふことを耳にしない、或は健康が之を許さないのかも知れないがオノラブルゲスたることに變りはない

▲其次は南米のヌシだ、ヌシはヌシだが大分古いヌシだ、兎角ヌシとなると頭も体も硬化するもので、これも其儘にしておくと益々硬化するから一度は歐洲に轉勤させ若返法を注射さすことだ、それには西班牙伯國牙でな所が恰ゝ嵌つて居やう、尙く も外務省の飯を食ふ程の者が歐洲勤務の經驗ゝ無い樣では肩身が狹くてイカン當人もこれならイヤでにあるまい

▲それから飜譯官だか從來は大谷弥七が居て少數ながらリオ在留邦人と使館とのツナギになり外人との交涉などゝ專らこれがあつて居た、而して大使館內の若造どもを押へて居たが、これが今度ベノス轉勤で居なくなり、代つて粟津金六と云ふが這入る

▲此男は葡語が世界語であるといふだけで世の中を少しも識らない純然たる通譯でおまけに喧嘩ずき、外人との交涉ごとをそうだらうが對邦人關係は將來大使館は頗る變なものになる、大使館では係り恊巧で世の中を識らない、常識を備へて居ないと云ふ方面では餘に立派な將待生が居るとだから此上非常識者を抱えるとも當るまいと思ふが、兎に角對外人方面では何かしら一枚役者の要ることは事實だ

▲大使館の書記生どもは大抵ツイ此頃お酌から一本になつたホヤ〳〵もので之れが又本省でお叩頭を習つて來て居ないから行儀作法がなつて居らず兎もすれば惡ラザケが過ぎてイカン、此は一度是非本省に呼戻し一廻り行儀だけは教え込まねば第一お座敷へ突出せない

▲元來現行外務留學生と云ふものが頗る變なもので若い青年に大金を當がつてノラクラさせておくなど怪しからぬ話で、これこそは國費飽費だ此際だから思ひ切りよく廢止して仕舞ふこと、若し存置するならば從來の手當を半減か三分一減にし、將來の新參者は一度は歐洲に轉勤させ若返法を注射して置かふ、直接の効果がないにしても精神的の　　はあらう

▲先づリオの大使館だア、茲には大使田付七太君の下に青木といふ勅參が一人居る、其下に野田良治と云ふ南米のヌシがおる、其下に何とか書記官、大谷飜譯官、これは來月ベノスへ轉勤する、其下に書記生が四名それから今度粟津金六と云ふのが囑托と云ふ所で這入ることになつた

▲頭數にして九人、大使館の表看板の手前決して多くはないが少くもない、右の內田付が適任だかどうかは後廻しにして他の連中から片付けて行かふ、先づ青木勅參だア、此人には僕未だ會つたことは無いから何とも批評の限りでないが何でも大使の前では鞠躬如として書記生通譯生の如しと云ふ噂を耳にしておる大臣秘書をやつたことのある男だから其所は如才なくやつてることと思ふが、要するにこれはオノラブルゲスと云ふ所だらう

▲始めは何でも伯國の祉交界に乘り出し大いに活躍するツモリで住宅もダンスをやれるホールが無ければと云ふ意氣込であつたと聞くが其後一向に活動したと云ふことを耳にしない、或は健康が之を許さないのかも知れないがオノラブルゲスたることに變りはない

▲其次は南米のヌシだ、ヌシはヌシだが大分古いヌシだ、兎角ヌシとなると頭も体も硬化するもので、これも其儘にしておくと益々硬化するから

▲最近電報▼

◉日本政府と伯國移民

臨時議會は伯國移民奬勵の爲め六百萬圓の支出を可決せり、依つて海外興業會社は移民三千人の輸送計畫を樹て第一船メキシコ丸は十月十日阿波丸は仝廿九日神戸出航と決定せり（十三日東京）

◉支那革命

目革兩軍の爭鬪は上海を距る十五哩の東方地點帶に開展して勝敗決せず死傷者千二百名に上れりと今週内に戰線の移動なかるべし（十五日上海）

◉同上

天津發モーニングポスト通信に依れば官革の爭鬪は當市を經て砲兵、飛行機を盛んに輸送しつゝあり尙ほ革命軍に於て毒瓦斯使用の惧あるを以て政府側よりマスク至急製造を命令せりと（倫敦發）

◉支那へ軍器密輸入

獨逸ハンブルグより來航のノードマーク號を檢査の結果數千挺の小銃彈藥及び多數の機關銃を發見せるが此は全部支那に向て輸送さるべきものなりしと傳へらる（ダーバン發）

◉日本に颱風

日本に大颶風襲來し南部地方は之が爲め非常なる損害を蒙り東京にては怖る可き龍卷起り浸水家屋四万三千六百戸に及び死者百有餘名を出せり（十七日東京）

▲内外雜組▼

◉日本人制限の雲行

米國通信社を經て別項の如き電報が來るとリオ市政界では又しても日本移民問題が論議されることゝなり議員の一部間には將來人種問題の煩累を避くる爲め之が入國を適當に制限する必要ありとの意見が可成り旺盛である右に付き仄聞する所に依れば我大使館でも之が對策は相等に講じておる由なるが何分にも田付大使は日向ほ淺きと適當なる助手が無いので可成り苦心して居る模樣なりと

◉黄色移民排斥

去る十五日開催されたる聖市醫學協會に於て黄色移民問題の議論沸騰し甲論乙駁非常の騒擾を極めたるがフラミニオフアヴエロ博士の發言に依りて『我が醫學協會は黄色移民は伯國々体の形成上好しからざるものと認むるが故に曩に北米合衆國に於て決行せられたるに倣つて同移民を中止せられん事を各州統領並に聯邦大統領に請願す』と云ふ意味の決議文を起草して問題に附したる處愈々之が討議に入るやマセド、フォルヂヤス博士は斯かる重要問題は充分に研究討論の必要なる事を記憶して戴き度いとて注意する所ありたるが大勢を動かす迄には至らなんだ

◉珈琲保護

今週始めから聖市並にサントス市では專ら聯邦政府は珈琲保護政策を放棄すべしとの風評傳はり爲めにサントス定期市場は時ならぬ大波瀾を生じ一擧して六百七十五レースの激落を見たるが其後即時に三ミル五百五十レースの暴騰あり十八日は更に一ミル三百七十五レースを跳ね返し後場に於ては尙二ミル騰貴した右に付き一般當業者間では中央政府の珈琲調節は之を州政府に移管するものとあるとの觀測を下し聖州農業協會では之が對策を講ずると共に今後の態度を決する爲め豫め各自の意見を纒める必要ありとし去十八日臨時協議會を開催して討議する處があつた、珈琲調節は之を當業者自身の手に委ぬ可きもので中央政府としては特殊物に對して不公平な保護政策を把る可きもので無いとは昨年渡伯せる英國財閥の主張なるが聯邦政府も多少茲に見る所あり之を現在の橡サンパウロ州政府に移管してはとの底意あるものゝ如くその含藏相サンバイオピダール氏は今週始め來聖し州當局と熟議を遂げる所があつたが未だ決定には至らぬらしい昨十八日サントス方面の情報では州統領カーロスカンポ氏より政府の珈琲保護政策放棄風說は何等形跡もなき旨を聲明したと報せられて居るが本問題は近く何等か變化ある筈にて聯邦政府のサオ市場向け珈琲出荷の制限を撤廢より聖州農界では議論沸騰し今後本問題の發展に付て非常に注意し居れりと

▲革命騒動の時にコンデ日本人間では臨時救濟會をやらを作つて領事館からお金拜借に及んだそうな▲そしてそれを二十ミル五十ミル百ミルといふ風に小貸しに貸し付けたそうな▲所が借りた方では大抵貸し下された積りで中々拂はないげな▲それで表向きは今月限りとなつてるが世話人の方では延期々々を願ひ出さねばならず大部分は無期延期ではないがとの評判じや

小學教師

一名備ひたし。御希望の方は至急左記へ御來談又は書面にて御照會を乞ふ。

コチア日本人會

今般鹿島縣人久保與四郎儀本月十四日午後四時頃不慮の災難に罹り本日午前十時サンタカーザに於て遂に死亡致し候即日當地共同墓地に埋葬仕り候條此段生前辱知諸君に謹告仕り候也

大正十三年九月十五日

ソロカバナ線サンタ、クルーズ、ド、リオバルド

親族 森三藏 仝ナツ 仝架裟助 仝イト 仝架裟吉

友人 海老原清彦 中馬政德 仝森龜次郎 西島仁作 海老原貞義 安楽兼政 小田亨藏 緒方清太郎 浦本勝喜 渡邊義雄 青柳光重 星子馬 北御門元輔 横田仁郎

今般當會員鹿兒島縣人久保與四郎君本月十四日午後四時頃不慮の災難に遇ひ本日午前十時サンタカーザに於て遂に死亡致し候即日當地共同墓地に埋葬仕候間此段生前辱知諸君に謹告候也

大正十三年九月十五日

ソロカバナ線サンタクルーズド、リオバルド驛

日本人共濟會

土地格安賣却

△位置、交通　ピラカイヤ驛より十二基、自動車道路有り、サンパウロより自動車にて三時間半。

△面積　八百アルケーレス、（內百アルケーレスは、處女林にして三分の一は珈琲植付に適す）ガード百五十頭內外あり、（亦ビンガ製造機もあり。

△拂込　全額三百コントスにて百コントス即時拂ひ、殘金は貸賣す。

△地權　確實。

▲別に

△面積　コチヤより一ングアの處にも良き土地あり。四十アルケーレス（事實はより以上あるべし）內十アルケーレスは處女林にして車道あり、自動車は一里手前迄通ふ。

△拂込　二十八コントス現金或は半金拂にても可。

△地權　確實

右の二土地至急賣り度し

聖市近傍の事なれば材木丈にても地價の二倍の賣上高はあります、御都合にては全材木は弊店にて御買ひ受け申しても差支へありません、委細は御手紙或は御來談下さい。

カーザ東京　杉本芳之助

R. B. de Itaqetinlnga, 20, Caixa 1005 S. Paulo

旅館讓受御披露

謹啓各位益々御清穆賀上候然者私儀此度舊廣島屋旅館を讓り受け從前通り旅館營業致事と相成り候就ては向後ハ客樣本位に精々勉强致す可く候へば倍舊の御愛顧賜はり度伏して願上候　敬白

大正十三年九月

坊迫健造

聖市コンデ街五十三番

電話セントラル五八一九

◆當社貸付移殖民諸君に謹告◆

當社は貸金整理の必要上返濟不良若くは辨濟の誠意なき者は御氣の毒乍ら本國保証人から頂戴することに致しました本年三月から或地方に對しては强制執行の取立を開始しましたが漸次他地方にも及ぼす手筈になつてゐます後で色々御苦情のない樣豫め御含み置きを願ひます

若し何等かの事情の爲めに拂込みの出來ぬ諸君はその事情を詳記して當店宛御申越下さい日本で取立の際の參考に致します

大正十三年九月

海外興業株式會社伯國支店

Kaigai Kogyo Kaisha

Caixa 1082 S. Paulo

移轉

謹啓各位益々御清祥賀上候然者弊館儀從來ルアコンデに於て營業罷在候所何分手狹にて御客樣各位の御不便不尠爲めに今般左記の所に移轉仕り候間倍舊の御引立に預り度願上候

大正拾參年九月拾貳日

聖市コンセレイロフルタード街十六番（コンデ坂上）

廣島屋旅館

小川源右ヱ門

Rua Conselheiro Furtado, 16 S.Paulo

▲創作▼

彈丸のかげ

（五）　ふみ男

七月廿七日夫は兩軍最後の接戰でむつた。官軍右翼隊の急激な進出は叛軍に取り最大な痛手であつた。と共に官軍は時到れりと其主力をプラス方面に集中して、鼠の子一匹も逃さじとプラス驛目掛けて轟々と攻立てた。

『午後七時頃より大激戰あらん、人民は總て立退くべし』

砲彈、小銃彈、銃劍、强姦、略奪、脅かされた人民は手に一枚の毛布、一片のパン、後を氣遣ひ前を心配しカルサードを家にすり寄つて、小走りに安全地帶へと逃れ避けた。

其夜は次第に更けて八九時を過ぎたが四界は般として音無く、萬物は微に……息のつまる樣な……森として其儘滅入つて仕終う樣な物凄い沈默が續いて、兩軍は只眠れる樣であつた。十時十一時……互に大事を取つてか、宛然深山の奥の樣な靜けさに、戰線に兵が居る樣になかつた。街には處々破損を免れた瓦斯燈が朧に微かな弱い便りない光を放つて、空には糸の樣な月が吹き荒さむ寒風の中に淋しく懸つて居た。

。。。。。。。。

「オイ敵も愈々逃げたさうぢや」

「ヤレ〳〵助かつた、だから言はぬことか、始めから官軍に居て仕合せよ」

「エヘン俺はな、斯う見えても今度は上等兵よ」

「ドッコイ俺だて一等卒未來の……」

一刀両斷……水を流した樣に……叛軍は遂に堂々と聖市より消えた。官軍は其儀拔の殼へ凱歌を擧げて入市した。此時獨り胸を焼く樣な苦しさが湧いたのは、飛行伍長ジョンであつた。『セメテの、名殘を留めさしたのだ！併し彼等は遂に暴動黨あつたのだ』

聖庫の金、結極は人民の金を奪盜して……永く此國を亂すべく山に出たのだ……其殘した叛逸の跡……皆暴動黨奪、政府に奏らんとする、爲政者の爲すべき事で無いのだパウリスタ、イビランガの名譽はもう根より失つたのだ』

意氣陽々と入城する友軍を見る時闘り伍長の心は淋しかつた。夕陽正に沈まんとする時、パウルの空を眺めた伍長の眼は涙が光つてゐた。

慘憺其物の樣な聖市、軍馬の蹄に蹴散らされたサンパウロ、嵐の跡の樣に荒んだ薄墨の樣な雲が、千切れ〳〵に西へ〳〵と這ふて行く。

。。。。。。。。

ソロカバナ線の一列車が闇の中を聖市へと、只走りに走つて居る、負傷兵を滿載して……

「兄さん傷は痛んで？」

アンゼリーナは實に勇敢な女性であつた。戰奥地に移れる後も、斯うした車中の看護に身を委ねたのだつた。

「オ、妹、今はもう……もう泣くな、俺も亦亡きアルフレド兄さんやペードロの後を逐ふのだ……俺達兄弟三人は怠うして……母さんを賴むぞ……」

汽車は轟々と闇の中を全速力で……汽灌車は火事場の樣な火の子を吹き上げ……過き去りにして……（をはり）

▲日伯詩壇▼

◈小曲數篇

コーリナ町人

回たはむれ

晩春の懶い午後
ふと目をさました、
薇薔の蕾のやうに
ふつくらとわが胸に
湧き起る、戀の悲ひ
あはれ　をかしや。

回ヴァルサ

もろともに、
ヴァルサ舞はな
孔雀のごと
驕れる君よ
もろともに
いざ舞ひ出でな
ヴァルサ……

回セー、ブランタン

ボンジュール！
朝日がのぼります。

愛と喜びの紅い薔薇は
靜かに目を覺します。
青い夜の涙の樣な
眞珠の露がさら〳〵と
花びらをすべります。
小鳥が歌ひます。
春です。

◈十八夜月

虚村

椰子の樹蔭にたゝずんで
わびしく思ふ、來し方の
人の旅路のつれなさを
君の姿にあこがれて
花束もつて、口づけに
通ひし昔の戀しさよ
家を出てから二十年
諸方諸國をさすらひに
行末定めぬ旅の路
心はすさみ氣はゆるみ
若き血しほは涸れ果て
寄るへなき身のあはれ
變き人の世と謂ひながら
我が思ふこと成らずして
逆境歩む果敢なさよ
新生の光り來れよと
默し祈れど音づれの
無き日ぞ多かりき
いざよひ出る月かげに
胸のいたでの靜まりて
あすの旅じを思ふかな

▲日伯俳壇▼

◈トランスバヴァル俳句會　九月七日夜選

回枯木

山縣深き塚の木枯れて茶屋淋し　露骨
見上ぐれば枯木の中に寄生木咲く　二葉
木の枯れし鉢一つあり貸家札　東南
夕暮を急ぐ人あり枯木道　信田

回春近し

麥の芽や一日毎に春近し　旭童
春近き日向り椽の御書草　東南
春間近唇ほし梅の花　觀山
砂ほこり立つ街道や春近し　信山
釣り上げて魚の濕みや春近し　二葉

回山燒

山を燒く沃野千里の霜天地　露骨
音を立てゝ走り行く火や枯野原　東南
山燒きに塒とられて鳴く小鳥　觀山
山燒きの音靜まりぬ夕時雨　信山
春日暮れて山燒きの火の　明滅す　東南

回月

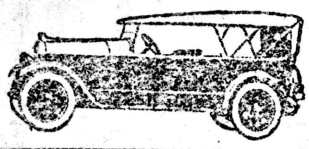
木枯吹いて上弦の月沈みけり　信山
月澄めば一入淋し犬の遠吠　仝人

CAFÉ & RESTAURANTE JAPONEZ
Rua Conceição, 92 S. Paulo
聖市コンセイセンソイン街九二番
中村勝盛

尋人

鹿兒島縣川邊郡東南方村鹿籠五〇三八
神門市助
明治十七年十二月二十二日生
熊本縣飽託郡中原村今新開
廣中政平
埼玉縣北足郡植水村大字佐和田一三四五
關根芳一
明治十二年八月二十五日生
右ノ者ノ現住所御承知ノ御方ハ御知ラセ下サイ
大正十三年八月二十八日
在サンパウロ
帝國總領事館

貸自働車業
Garage Congresso
Praça João Mendes
Telephone Central 81



日本歸りの方々樣へ
▲御土產や航海中の必要品などをサンパウロ市で買つて汽車賃や人足賃を掛けるのは無駄なことです
弊店は御客樣の御需めに應じ御土產並に船中必要品など何に依らず便利に御用達いたし船迄お屆けします
サントス市
ラルゴセッチセテンブロ十六
上原商店

パウル市ソロカバナ驛眞上
ひらた旅館
館主　平田崎太郎

日本旅館
北西線パウル驛前
沖山心平
屋比久孟德
玉那覇重榮

リンス驛ルイスガーマ街
大福旅館
鈴木昌吉

荷物運搬用
貸自働車業
邦人諸產に對しては特に迅速丁寧に致します
市内プラサ・ダ・レプブリカ三七
電話　シダーデ　七八
岩本秀雄

ホルテンシアたすけ
麻州
カンポグランデ驛
宮平市榮

Elixir 914
GALVÃO & Cia.
Av. S. João, 145 S. Paulo

回微毒根切妙藥回

▽本劑は微毒に對する唯一の科學的血精劑です。
▽微毒性リユーマチスに惱む人、流產の癖ある婦人は本劑數瓶を試みなさ、直ちに効顯があります
▽其他フエリーダ、瘻管、毛脫け、潰瘍、ハゲ等微毒性諸病にお困りの方は今日から本劑をお用ひあれ。
▽本劑には砒素も沃化物も含んでは居ません、から服藥の爲め胃腸を害ひ齒を痛め其他身躰を損傷する樣なことは決してなく自然的に血を淨め內臟の機能を整える効能があります、から安心して服用がなる來荷酒精の風味を帶び誰方の御服用にも向きます
（國內到る處の信用ある藥店にあり）
（一九一六年二月二十一日附衛生局認可）

大阪商船會社
日本郵船會社御用達
國際汽船會社
各艦船食糧並ニ船具賣込業
ヤマカ合資商會
小淵
前田　合同經營
サントス市
マルチン・アフオンソ街四十一番
電話　セントラール一九七三番

Semente de algodão da
M. Silveira & Cia

綿種子販賣
州政府保証のボルバ式消毒法に依り消毒した棉種子のノロエステ地方一手販賣店
シルベイラ商會の種子を取次販賣致します
ノロエステ線グワイサラ驛
相馬速

讀者のこえ

骨なきを誡む

リンス　茨木友次郎

新垣氏の教育會を起せの問題より引いて孤山氏の感想文あり、確固たる中心即ち心の的を獲得したい、不動な或るものを握りたいとの眞心が窺はれる。斯うした心ある人志は晨に夕に懸命に求めつつあるの今日、時報子が此度渡伯された本願寺關係者松原致遵師の事業問題より論を起し當伯國はカトリック教徒の疑固まりの國他宗教佛教を奉ずるは反感を買ふとか排斥をさるゝとかの御心配の樣であるか未開國では教育機關としての新聞紙が混沌として統一なき狀態に置かれある在留同胞に對し社主が輕卒にも此國の反感を恐れて宗教即各自の心の的とする中心點を變更せんとする輕佻詭怪の論法出たり。骨なし新聞、金方針新聞、伯國の爲には心まで賣れと云ふ大網なき追從論たるを信ずる。同胞の爲めに不謹慎も極まれり、自後重大なる根本問題は輕卒に論ずべからず。

我々は佛教、日連宗を奉ずるものの、眞宗本願他力本意の宗教を信ずるものではない、然しながら各自人類生活の爲めには其主義まで變更せんと敎ゆるは日本人をして居住地の爲には精神的に死せよと敎ゆると同樣、或は日本人をして女郎になれと敎ゆると同じではなからうか、汝の心は八方美人的惡魔なり、賣心奴なり、今後日本人として敎育道義宗敎を論ずるも中心點を失ふことなきを吾々同胞の爲に誡む。

宗敎が異つて排斥を起すは國家若しくは社會外交の方便なり、同じ敎徒に非ざれば入國定住不可といふならば何故に初回移民募集するの際宗敎を論せざる。農業者若しくは身躰建全なるを以て入國許可せしめ言語の通せざる間は奴隷的に働かしめ漸く人間らしく少し自由の心身を樂しむに至り信仰の的、即ち精神的に己の信ずる道に猛進せんとするを何故に遮らんとする。即ち宗敎を論じ異敎徒を排斥せんとするは（言ひ替へ夢み、胸を躍らして刻々〻近づく憧憬の國に心寄せて來ました。

全く想像外の事實でありました。私達の目的地ノロエステ方面には聖市內亂のため入耕不可能、止むなく一時聖市に滯在することになりました、失望の中にも希望がありました之も神の私への愛の試練と思ふてあきらめました。

幼子はむごくも乳房をもぎ取られました、はじめて此の異鄕の地を踏んだ私共にすべては冷かでした、道行く同胞も私達に冷たい一瞥を投げて過ぎ行く、之が日本人かしらと私は眼のあたり後進民族のために流すべき尊き血を持たない人間を見ま！た、『お困りでせうね』只この一言だにも耳にすることが少なかつた。！かも土地慣れない私共を恰ら玩具視するが樣に殊に女性に於て甚しかつた、私は此の同性の冷たい態度を泣いて考へたい、皆さんはあの深紅の大和なでしこの血をお持になりませんか、あなた方は此の不器用な妹達の姿が面白く見えるでせうかとさへきいて見たくなりました。

在伯女性の心のしとやかさ、麗はしさは乾魚の樣にひからびて居た、そして唯みにくい私慾に競々として居られる。聖市で見た日本婦人は決して自覺し居らない彼等の一つ〳〵の態度は日本婦人にふさわしいものではなかつた。只一部を見て日本人一般を揣摩するのは或は狹い見方かも知れません。然し一部の人達にせよあのはだしの姿や頭の上に物をのせて歩くの姿は一等國民としてのものじやない、私は決して一等國民を鼻にかけるものではない、けれど少なくとも各自が一等國民の自覺を以つて起つべきだと信じて居ります殊に棧市は當國の關門である、すべての世相は直觀される都で、あのみにくい姿を眺めた時の外人の心持を考へると私は寧しろ戰慄すべきあるものを見出すのを悲しみます、山奥に住む人けどうでもいゝのか、そうではない、然し人間にしても顏を第一に美しくして他に及ぶ樣に、伯國では棧市は顏に相當する所でありますが慨息基儀永々病氣入院の處療養不相叶九月七日午後七時廿五分死去致候間此段生前辱知諸彦に謹告仕候也

大正拾參年九月拾貳日

イグアペ植民地

父　菅山鷲造
母　仝　サク
弟　仝　誠
仝　守
從兄　仝　輝吉
從姉　仝　久江
友人　堀川才助　加藤俊造　吉田政之進　夏地傳之助　高野留七　齋藤眞平　上地彌藏

新渡伯者の眼に映じた

在伯日本婦人

（上）

聖市にて　夕美

思想の中心點！流行のみなもとなる！智識の泉なる東京からはるゞ〳〵の海を渡つて私は來た。吾々の先驅者大和民族の種おろしの人々に私は逢ふのだ。きつと咲いて居るであらう伯國の原野に、此の常夏の國に大和撫子が美しく、おゝ讃美なるかな。吾々の先驅者よ、後進の私にそのうるはしゝ哺くまれた姿を見せて下さいませ。そして皆樣のお歩きになつたその美くしい足跡を。あなた方の血と涙の物語りを聞かせて下さいませ、私はキリストの使徒達にも似た美しく雄々しい姿を描きつつ棧港に辿り着きました。活動舞臺の人達を

女中入用

高給支拂ふ。委しくは面談の上。

御旅館　常盤

コンデ街四十一番　坂上）

芋作向き　貸地

住宅、ガリチイロ付にて特に芋作向きの耕作された土地を好條件にて貸します。委細は下記へ御照會下さい。

聖市リベイロ・バダロ街十二番四階

Alvaro Castello
Rua Libero Badaró, 12
3 andar S. Paulo

Pensão e Armazem
de Seccos e Molhados
M. NAGATA

雜貨店　島原旅館

ソロカバナ線アバレ驛前

長田商店

棉種子販賣並に棉花仲買商

長田茂八

F. Avare
L. Sorocabana

運搬用　貸自動車業

市內プラサダレプブリカ三七
電話　シダーデ……三八九〇

原村喜之助

GARAGE
NORMAL

Tel, Cidade 56
Praça da Republica 43

Rua B. deCarvalho No. 5
Telephone No. 156 BAURÚ

今度上記の場所に於て再び旅館開業仕り候間倍舊の御贔負賜はり度奉懇願候

（舊ホテルコングレソ）

澤尾ホテル

バウルノロエステ驛前
電話……一五六

◎土地

一、面積　七千アルケーレス。
一、位置　バウル驛より二ッ目驛バウリスタ線ゴヤナス驛より三キロメートルの所。
一、全面積の七割は珈琲栽培に適す。御希望の方は下名へ御問合せ下さい。

バウル五郵函六八番
澤尾磯七

御旅館　上地

聖市、ルア・ポニータ十一番
郵函　一二二五
電話セントラル　五七〇一

◎日本雜貨　◎獨逸品各種
◎賣藥、罐詰類、色々、玩具
◎額、額面用ビードロ、額縁

バウルー市バチスタ、ダ、カルバリオ一四番

柳木商店

東京館

電話シダデ一四七六番
ルアマウア二九一番
聖市ソロカバナ驛前

CASAOKASIMA
Caixa Postal 14
Est. C.Cezar Sorocabana

▲日幹各種
▲食料品
▲種子物

岡嶋商店

▲ベビーダス
▲農産物
▲委托販賣

成功館

サントス市ラルゴ セッテ デセッテンブロ一五

內國產鰹節製造元

古謝將義

電話二〇〇八番

日光館

榮門松

サントス市ブラッサ、デ、ジョゼーポニフアシオ五十一

御旅館旭

聖市コンセレイロ、フルタード街一番（コンデ坂上）
ルスメロ兩驛よりの電車は三九番を御便宜と存ず
カバーナ

野口喜平治

電話セントラル四一〇二

◉薪からガソリン代用品

素人が聞くと奇想天外手品か魔法使でなければ出來ぬ藝の樣に思へるが科學の進歩した現在ではそれが立派に世界で人生々活に痕跡を現へるのだから大したものである今週始め東京の人で目下黑河に住んで居る高田常次氏と云ふ人が右の發明を齎らし蒼國總領事館を經て伯國政府の特許を得んと企てゝおると聞き込んだので十八日常盤旅館に訪ねて見ると四十七八歳位の頭髪の薄くハゲた八字髯の同氏がいとも眞面目に發明の來由から渡伯の動機を說明する所がつまる仝氏の談に依れば元陸軍に藥濟官として勤めて居た間に樺太に於て木炭からいろ〳〵藥品を製造し一時は可なり大仕掛にやつて居たが戰後の大不況に遭遇し伯國では樹木は之を燒棄てゝおることを聞き込み之を利用したら必ずや面白しと大正九年渡伯ガタバラ耕地で契約農年を終り爾來リベロン附近に於て研究を重ねて居た所遂に薪からガソリンを得ることに成功し仝地に於て試驗してみた所普通のガソリンよりも二倍位强力で加ふるに生產費も安く出來る所か愈々州政府の公式試驗を得て特許權を得たいと云ふので此程出聖したのだそうな、それで直ちに總領事館に出頭して詳細に說明して政府へ出頭手續等を依囑した所領事館でも人物が眞面目な上計畫の仕事も如何にも筋が立つており日本人の發明として決して恥かしからぬものと判明したので直ちに州政府農務省へ製品と共に出願の手續を取つたそうな記者に示したガソリン並にピッチ曹達など實に立派なものであつた、尙同氏の語る所に依れば從來ガソリン代用のアルコールは一リットル瓦は比較的成績が良いが其以上になると成績思はしくないが自分の成品は其點に於て十分確信があるとのことで來る二十日頃改めて州政府の公式試驗が行はれる筈で首尾よく合格すれば非常なる國產奬勵になるのみならず事業としても殆んど無盡藏に製造が出來る譯である、從來日本人の專賣特許權を得たものは大抵ブリンケード者の間には明白に判つて居る樣何時でも證人に立つて云ふ者が外國人にも日本人にも澤山ある由

◉敎北島研三氏一時忌　九月十六日は敎北島研三氏が死んでから丁度一週年になる右に付き遺族海興支店とか　山田陽之助氏を始め北島氏令孃　坂元靖氏與謝野寛氏令孃　森鷗一氏など打揃タてレジストに行き盛んなる追悼式を行つた由

◉ガイサラ線最後便り　ノロエスラ線の該植民地では過ぐる八月三十一日天長の佳節に會員百餘名を擁し青年會が生れた、會長に善方隼人氏幹事會長に佐藤與四郎氏が擧げられた。兎角ひかがはしい會が彼方此方に起る折柄實質な青年の志氣鼓舞が今の相當には何より必要なことだと。

◉爲替　リオ正金銀行九月十六日

郷里送金建相場一圓につき伯貨四百五十レースなり

Monção, C.Cezar

◆食料品
◆雜貨品
水谷商店
◆農產物仲買
◆委托販賣

歸化手續取扱ひ

サントス在住日本人諸君の歸化手續の大部は私が致しました、最も迅速に確實に取扱ふのを本領と致して居ります、其他法律上凡ての御相談に應じます
御相談は日本文でも宜しふ御座います

サントス市アマドル●アエノ街四十番五番室
法學士　ルイス●アルバレングラミーロ●カリヌロス
Rua Amador Bueno, 47
Santos

AO EMPORIO TOSCANO
87—39. Rua General Carneiro　São Paulo

冬季衣類品々

一、上等毛織ビロード、綿珍覆布、外套、マント、合羽支度品新流行物一切、色は十尺種の御好み次等にて、意匠新流
一、御婦人、小兒用新調品外套並にマント歐洲新輸入新流行品一切。
一、毛織製上衣一切
一、男子、小兒用外套並に合布、毛織物、「ムーキー」防水織、色は何でも御好み次等。

右の外毛織製、伊太利品ラクダ毛織外套等冬物一切取揃ひてあります。

價段は破格の御勉强を致します

アオエンポオリオ
トスカノ雜貨店
聖市、セヂラル、カンヂイロ街八七—八九ラルゴ、グ、セ坂下

Y.KINJO
DENTISTA
齒科醫
聖市アッフォンソ、ペンナ街三七
電話　シダーデ　六二六七
金城山戶

聖市コンデ●デ●サルゼーダス街四拾壹番地(坂上)
御旅館常盤
郵便私書函　壹八五〇

OPTIMA TERRA
Proprietario, Mendes Campos Filho & Co. Rio le Janeiro

土地

ソロカバーナ線プレジデンテウエンセスラウ驛カイウアー驛プレジデンテエピタシオ驛に跨る五万アルケレスはリオ市メンデスカムポス商會の所有地で其内カイウアー驛附近二千アルケーレスを限り日本人諸君に提供します
二十アルケーレスを一區とし日本人には特に十アルケーレス以上ならば賣却します　價額は距離の遠近に依つて高下あり停車場より五百メートル以上は一アルケール二百ミル乃至三百ミルですから早いが勝です
支拂方法　は四ケ年々賦とし入殖申込と同時に四分の一を拂ひ込めば直に地券を渡します殘額は毎年一回取穫後とし全額一時拂に對しては一割五分を割引さします
市街地として設定せられたる地區は間口二十奥行四十米突を一區とし毎區二百五十ミルにて賣却します
視察者の御便利の爲め御希望の方に限り殖民地迄の片道汽車切符を差上ます
尙詳細は下記事務所に就いて御尋ね下さい
聖市ルアジョオンブリコーラ拾一番三階一號室
岸本ティシエイラ商會
電話セントラール六一四八
追而手紙にて御照會の節は左記宛に願ひます
Kishimoto & Co. C.P. 1124 S.Paulo
Pres. Wenceslau L, Sorocabana
出張所

HATIRO MIYAZAQUI
A EMPREZA PAULISTA DE Colonização Ltda. em RIO PRETO

土地

ノロエステ鐵道沿線に於ける第一、第二線の土地は既に賣り盡されて最早や第三線に入つて居ります然るに其度私が九ケ年間植民事業にたづさはつて得た經驗に依て賣り出します「パウリスタ植民會社」の土地は第一及び第二線のアラサツーバ、ビリグキ二驛に存在する地權確實絕對健康地の左記の二ケ所であります。

▲バグアス耕地(アラサツーバ驛)
政府事業として交通省より大藏省へ向けアラサツーバ以西イタプーラ驛に至る鐵道の變更は既に明年度の豫算として提案せられた事に依つて最も其の實現の時かである此の由厩鐵道既定線の兩側地質良好五百米突乃至五百七十米突の高さのアラサツーバ驛より自動車道路に依り十八キロメートル內外の距離にある廣大なる土地。

▲ジャンガーダ耕地(ビリグキ驛)
四百家族の同胞植民地を二キロメートル手前に控へてビリグキ驛より南に自動車道路に依り二十四キロメートルの地點にあるノロエステ鐵道のリオフエイユ……チエテ大分水嶺の高さ五百米突以上の絕好の珈琲園地帶「エスピゴン」の部分十五日アルケーレス。

▲以上は何れも年賦拂にて契約します、尙御視察案內又は詳細は從前の通り「サンパウロ土地材木植民會社」事務所宛に御願ひします。

パウリスタ植民會社
代理人　宮崎八郎
Est. Birigny Linha Noroeste

19 de Setembro de 1924 N.389

Nippak - Shimbun

大正十三年九月十九日　金曜日　第三百八十九號

伊達騷動

錦城齋貞玉演

第八十席

御膳部毒藥の露顯

食へと言はれた時に武助吉兵衛ら兩名青くなり、武「へ、ッ……充分に頂戴致しました」鐵「誰か食した」仕方が無いから兩名も少し位ゐはと思ひますますから、誠に聊か口に入れ呑み込む時の兩人の心の内の苦しさは又別段、斯う云ふ奴でありますから、膳が小さい、聊かでも口へ入れると疑が毒で自分の入れた物を自分が食ふのでありますから、兩名もうブル震へて居ります、其内に膝に手をつかへておりした盜澤丹三郎、滿面土の如く相成りまして、ダラ〳〵熱湯の樣な脂汗が流れ、丹「ウーム……」と云ふと其儘其所へ倒れるのを見て松前鐵之助に於ては、鐵「澤田邊りに心をお注けなさい」澤「畏りました」と局に於ても四邊に心配る、樣子を見て居ると丹三郎は甚だしき苦しみ、武助吉兵衛兩名も同じく虚空をつかむ斷末魔、見る間に其處へ倒れ座敷の中へ這廻る、其内に黑く固つたる血を吐いて苦しむ間も丹三郎両手を合せ丹「恐れ入り奉ります御覽の通りに御座ります」云ふ音調も途切れ〳〵にございます、松前鐵之助此樣子を見て居る間も諸事に氣を配り、何でも此お膳部に入つた毒藥は大方大場道益の匕加減に相違ないと心付いたから、第一番に道益を取り押へ一間の内に縛り置き、一方は澤田の局に申付けて早速愛宕侯見田村隱岐守へ動して至急御出仕を相願ふ樣に使を立しれし、淺岡は御幼君を保護して一層嚴重にお鈴の間より此方へみだりに人を入れざる樣に致し、仙臺屋敷の騷動は一通りなりません、前鐵之助より澤田局に申渡したには、所卒御後見樣御一人にて早速御入を願い度く、願くば此事は廣尾の兵部樣へ對して御通知無き樣願ふと是は鐵之助に於ても聊か心附いたる儀がございますから、同じ後見でも田村殿御一人を招き然る後兵部殿へ沙汰致する心底で右の越きを澤田に申含めました、澤田も夫を承知し製籠を早めて田村殿方へ罷り越す、其間に三人は絶命して仕終ひました、扨澤田は隱岐守屋敷へ參りまして公用人ウ田孫右衛門に面會して上へお目通りを願ひ度き由を申入れる、田村候に於ても早速澤田にお遇ひになり左り手に宇田孫右衛門控へて居りまする、澤「お目通り相がないまして有り難き事に存じまする」隱「澤田何用あつて至急罷り越したか」澤「實はお館に珍事出來斯樣々々云々」と澤田が申述べました、田村候お聞きになつて大きに驚き、隱「イヤ夫は容易ならざる大事である急ぎ出仕いたすであらう其儘にさし置くやうにいたせ」澤「委細畏りまして就ては錢之助より申上まするは田村樣お上りになるまで廣尾樣へ此の事御沙汰無きやうに願ふ由を申してでございます」隱「其儀承知いたした、其方は急ぎ立歸へるやう予は早速出仕いたすであらう」澤「委細畏りました」と澤田は右の由を申し述べて新錢座御屋敷へ立ち歸りました、然るに物には間違ひといふことがございまして澤田の局より申し入れたる事、廣尾樣へ御沙汰なきやうに願ひますといふのが隱岐守の思召では當家より廣尾へ沙汰をして呉れといふやうに考へやのと之二つには田村隱岐の守といふ人は誠に温順の人で總ての事が内場のお方でございますから同じ御後見とはいひながら先輩の兵部殿へ沙汰をないで先へ參る譯にもなりませんから、隱「孫右衛門其方馬を飛ばして廣尾へ罷り越し兵部殿へ此度の次第を申し上げ早速出仕の容易をいたすやう仕れ」孫「委細畏りました、併し御前は早々御成りに相成つた方か宜しからうと孫右衛門は存じます」隱「イヤ種々考へることもあるから其方急き廣尾樣へ照會して、其上出仕いたして方が順當であらう」主人のいふことでございますから仕方がない孫右衛門もすぐに斯ういふ時でございますから早馬で廣尾へ參り、兵部殿へお目通りを願ひました伊達兵部は手違ひになつたことは知らん、豫ての約束の通り今日は御曹子の命を斷つ當日、モウ今頃は行つたであらう行へば必らず家の大事であるから田村隱岐の守へも沙汰があり、又予にも出仕を促がすに相違ないと思つて居る所へ田村隱岐守の家來御用人ウ田孫右衛門がお目通りを願ふといふから扱は隱岐の守の方へ先に沙汰をいたし隱岐守より當方へ照會をいたして來たものと見えると思召し直ぐお遇ひに相成り、兵「孫右衛門苦しゅうない遠かに口上を述べよ」孫「恐れ入りましてございます速かにお目通り仰せ付け下され有り難き仕合せに存じまする」兵「いや挨拶は後に讓り早馬の急を早々に告げるように何か事件出來をいたした樣に思ふが何事である」孫「エ、只今上屋敷より澤田の局罷り越して云々斯樣の次第」兵「エ、ッ」と兵部は驚ろいた、兵「ウ、ム……」孫「其儀に就いて至急出仕を申し越しましたるが廣尾樣思召しは如何でございますか、一應御照會申すやうにとの事で、如何取計らひ申して宜しうございまするや」兵「扱は下尾敷に於て御風味役鹽澤丹三郎、岡田吉兵衛、多田武助の三人が配膳をいたして其の毒味の節三人劇藥に當つて落命をいたしたとな、容易ならざる一大事併し秘密を要する事柄却つて表向にすれば夫が爲めに惡人を取逃して仕舞ふやうな事に相成つてはならぬから其方は立ち歸り隱岐殿へ左樣申すやうに只今より兵部出仕いたし種々打ち合せもあり旁よいするゆえ愛宕下へ立ち寄り其後打揃つて出仕いたすであらうから兵部參るまで待たれるように」孫「委細畏こまりました必らず御立ち寄りを願ひます」兵「オヽ相違なく罷り越す立ち歸つて右の次第を隱岐殿へ申すように」孫「畏り奉る」と其儀に、孫右衛門に於ては馬を飛して立歸り其通り申上げますと隱岐守が、隱「然らば何か打合せる事があらう」と相成見なれば無理ならん事でございます、

Dr. Takaoka
Medico e Operador

醫師高岡專太郎
聖市　フアグンデス街八
電話　セントラル四一八〇

Osaka Shosen kaisha

發着廣告
日本へ　たこま丸　リオ發十月十一日　サントス發十月八日
日本より　ぱなま丸　サントス着十月五日　リオ着十月三日
詳細は左記へ御照會下され度候
Antunes dos Santos e comp.
Rua José Bonifacio 17 S. Paulo
Rua 15 de Novembro 167 Santos
Wilson Sons & Co. Ltd
Av. Rio Branco 17 Rio

DR. M. SAÇADA
MEDICO E OPREADOR
C. Postal, 124 Est. Lins
Linha Noroeste

伯國リオ醫科大學醫學士
笹田正數
ノロエステ線リンス驛
郵函　一……二……四

Fujisaki & CO.
Rua São Bento, 68-A
Tel. Central—2788
Caixa, 344 São Paulo
日本雜貨
本店　リオデジヤネイロ
支店　ベルナンブーコ
支店　サンパウロ、ルアサンベント六八・A
藤崎商會

FERNANDO HAEHADT Co
ua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 948 São Saulo,

肥料　肥料
作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫々別の肥料を差上ます、品物は極上者です
四月十五日より一噸に付十ミル宛値上げす
日本人諸君には特に御便宜を計ります
聖市　ルアサンベント三十三番二階七號室
フエルナンドハツクラト商會
九四八

削鹽干
節辛魚
愛貞元　サントス市ルア、セナドールダンタス五十番
電話　セントラール　三〇五四番
カイシヤ　三二八番
K
三井商會

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD
Rua da Candelaria No. 23
Caixa No. 380
ÚIO DE JANEIRO
キリトリテタガミノヤエニハラルベシ
▲郷里送金▼
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候
二、日本内地郵便爲替料、書留料共御總て店御に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて貴當里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子はコンパロール、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶は横濱正金銀行勘定宛としてパンコ、コンメルシアルエスタード、デ、サンパウロ又は御便宜の方はパンコノロエステ、ド、エスタード、デ、サンパウロへ御拂込被下ても差支へ無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候
預金
日本貨定期預金利息　六ヶ月以上年四分五厘
（六ヶ月以上年四分五厘）
（壹ヶ年以上年五分）
伯貨定期預金利息
伯貨當座預金（小口）——年四分
預金通帳は書留郵便にて御返附可申上候間御預金申込之際最寄郵便局御指定相成候はば御便利に有之候
敬具
リオ、デ、ジヤ子イロ
横濱正金銀行支店